

Item No. GD-005

SUNDISH

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。安全にご使用いただくために、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになられた後も、大切に保管して下さい。
※この「取扱説明書」は、お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止する為、重要な内容を記載しています。内容をよくお読みのうえ必ず守ってください。

取扱説明書内のアイコンについてご説明します。

- ⚠ 警告 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある事を示しています。
- ⚠ 注意 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または物質的損害の可能性を示しています。
- ⊘ | この表示は、してはいけない事を示しています。
- ❗ | この表示は、お客様に必ずしていただく事を示しています。

⚠ 警告

- ⚠ 警告 | 器具を取り付ける天井の強度を確認し、重量に耐える耐えられることを確認してください。強度が不足している場合は補強工事をしてから取り付けてください。
- ⊘ | 器具や電球を布や紙、アルミ箔等で覆わないでください。火災、焼失、故障、変形の原因になります。
- ⊘ | 点灯中及び消灯直後は器具及び電球が高温になっていますので、素手では触れないでください。
- ⊘ | この器具は「非防水」です。湿気の多い場所や水のかかる場所、屋外ではご使用できません。
- ⊘ | 指定の電球以外は使用しないで下さい。

⚡ | 絶対に分解したり、修理・改造をしない。発火等の異常動作して、火災や感電・けがの原因になります。修理は販売店へご相談ください。

⊘ 禁止 | 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。(傷をつける/加工/熱器具に近ける/無理に曲げる・ねじる・引張る/重い物を載せる、束ねる等、コード・プラグに不可の掛かることはしてはいけません)傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。修理の際は、販売店にご相談ください。

❗ | 電源プラグは根元まで確実に差込んでください。差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠ 注意

△ | 器具に注意書きのシールが添付されている場合はその指示に従ってください。

⊘ | 器具や電球に着色等をしないでください。

⊘ | 器具を勝手に改造したり、部品を追加、変更して使用しないで下さい。

△ | 器具から煙が出たり、臭いがしたときは、速やかに電源を切り、販売店までご連絡ください。

△ | ご使用后、廃棄される場合は清掃回収者への安全面に充分配慮して処理していただきますようお願い致します。

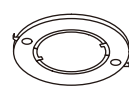
●天井の配線器具を確認してください。



角型引掛シーリング



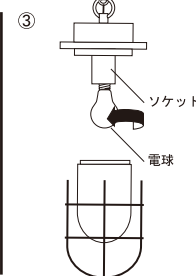
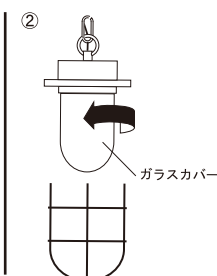
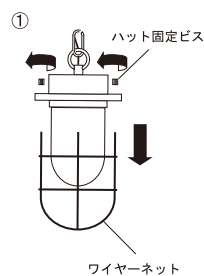
丸型引掛シーリング



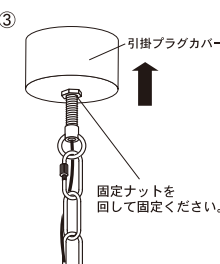
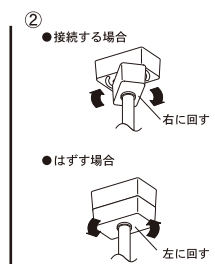
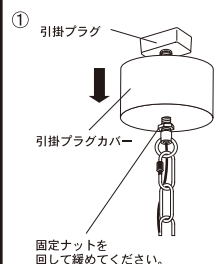
埋込ローゼット

いずれの器具もついてない場合は、電気工事に依頼して取付けてください。
⚠ この照明器具にはスイッチがついておりません。壁面にスイッチパネルが無い場合は、電気店にご相談のうえスイッチを取付けてからご使用下さい

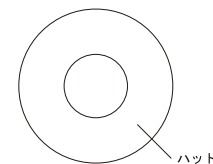
2. ①ハット固定ビスをはずしワイヤーネットを取り外します。
②ガラスカバーを本体から取り外してください。
③ソケットに付属の電球を取付けてください。



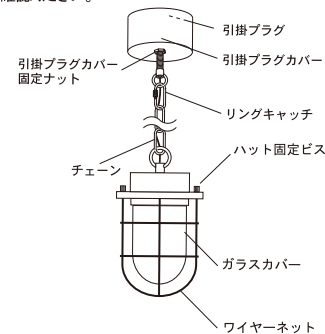
4. ①引掛プラグカバーの固定ナットを回し緩めて引掛プラグカバーを下に移動させます。
②お部屋の壁スイッチがOFFな事を確認してから引掛けプラグを取り付けて下さい。
③引掛プラグカバーを天井に押し上げ、固定ナットを回してカバーを固定してください。



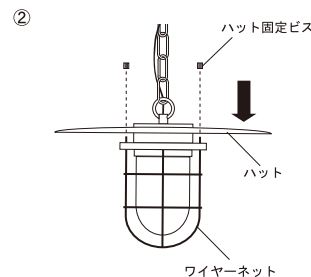
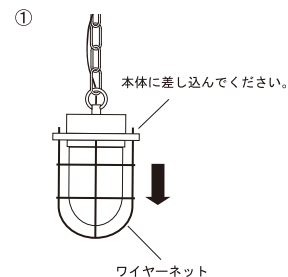
1. 下記、部品が全て揃っていることをご確認ください。



SPEC
□口金サイズ E26
□W数 60Wまで



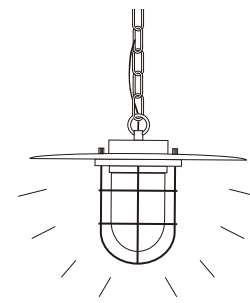
3. ①電球を設置した後、ガラスカバーを付け直しワイヤーネットを本体に差し込みます。
②ハットにある2箇所の穴にワイヤーネットの先端を差し込み、ビスを回して固定してください。



5. お部屋の壁スイッチをONにして点灯を確認してください。



壁スイッチをONしてください。



【製造元】
有限会社 ハモサ
HERMOSA Co.Ltd.



安全にご使用頂く為にも、以上の注意・警告事項を必ず守ってご使用下さい。
事故防止の為、各部位が確実に接続されているかを再度ご確認ください。